

The logo for 'FREE THE CHILDREN' is displayed in white, bold, uppercase letters on a blue rectangular background. The text is arranged in two lines: 'FREE THE' on the top line and 'CHILDREN' on the bottom line. The blue background has a small notch on the left side.

# FREE THE CHILDREN

2022年度 第18期  
22年計画書  
2022年3月13日総会承認資料

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062東京都世田谷区南烏山6-6-5安藤ビル3F  
TEL : 03-6321-8948  
Email: info@ftcj.org  
URL : <https://www.ftcj.org>

## 1. 2022年度の事業実施方針

新型コロナウイルス感染拡大から2年目を迎えても未だに収束していない状況ですが、今年こそある程度落ち着きを世界が取り戻し、海外支援事業への訪問などができることを願って年を迎えました。しかし、去年と同様に、コロナの感染が抑えられたとしても、貧困に陥った人々がそこから脱却するにはかなりの時間を要することが予想されます。

毎年世界の不平等に関する報告書を、スイスのダボスで開かれる「世界経済フォーラム」の開幕に合わせて発表している国際NGOオックスファムによると、新型コロナウイルスの感染拡大により世界の大富豪はいちだんと裕福になり、その一方で貧困状態で暮らす人は増加したといいます。また、世界の最貧困層の収入が減ったことで、毎日2万1000人の死者が出るようになり、その一方で、世界トップ10の富豪の総資産は、2020年3月時点と比べて2倍以上に膨らんだといいます。

国内の子どもを巡る課題に目を向けると、昨年度、自殺した子どもの数は初めて400人を超え、文科省が調査を開始した1974年以降で最多となりました。「日本の子どもの幸福度の低さは、子どもの声を聞かずにおとなの都合で決めてきた結果である。」とは国立成育医療研究センターの五十嵐理事長の言葉です。子どもの命を守るには日本社会が子どもの声に耳を傾けると同時に、子どもが声を上げて良いんだ、と思えること、そして、自分の声は聴かれるべきことで、自分は大切な存在なんだと実感できることが大切だと、私たちは考えています。

圧倒的な経済格差と、生きづらさを感じている日本の子どもの多さを前に、何から手を付けたらよいのかと途方に暮れそうになりますが、「誰も取り残されない社会を、子どもと共に作る」をモットーに掲げているフリー・ザ・チルドレン・ジャパン (FTCJ)としては、国内外での子どもの権利保障のために、しっかりと活動したいと気持ちを新たに感じています。昨年度行った中長期計画の策定をもとに、FTCJらしさを大切にしながら活動していきたいと考えています。

これらの状況や課題を踏まえ、2022年度は下記の活動に注力したいと計画しています。

### ▼2022年度重点活動

1. 子どもの権利保障のための法整備に向けた政策提言活動を子どもとともに取り組む
2. 子どものウェルビーイングの向上のための教材開発とその教材を使っのワークショップの実施
3. 国際協力事業の現地パートナー団体への訪問と協働計画立案
4. チェンジメーカー・フェスのオフライン実開催に向けた準備
5. オフラインキャンプの再開
6. WE教育プログラム（子ども若者が、社会課題に向き合い解決に向けたアクションを起こしていくサービ斯拉ーニングプログラム）を全国の学校や青少年グループに対して展開していくための取り組みの強化

以上、改めまして、FTCJを応援しともに歩んでくださるメンバーやサポーターなどすべてのご協力くださる皆さまに心より感謝いたします。2022年度もどうぞよろしくお願いいたします。

代表理事 中島 早苗

## 2. 2022年度事業実施に関する計画

### <WE Movement>

#### ・子ども主体活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
子ども アンバサ ダー 企画活動	2022年度のアンバサダー（旧子ども代表委員）を募集し、アンバサダーがファシリテーターとなってフリーザチルドレンのメンバーを繋ぐイベントを実施。また、自分がおこなったソーシャルアクションをブログやSNSで発信する取り組みも促す。また、アンバサダーは総会へ出席し組織運営について意見をすることができる。	通年	全国	子どもメン バー 約800人～	400
メンバー チーム活動	メンバー登録する子どもやユースが目的に応じてチームを組んでの活動する。 ▼チョコレートプロジェクト コロナウイルスの感染状況を鑑みて実施	通年	全国	子どもメン バー 約800人～	400

#### ・子ども活動応援

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
子ども若者 育成	Take Action Campの実施 日本国内でオンラインまたはオフラインでキャンプを3回以上実施する。 (Take Action Campとは、子どもや若者が国内外の社会問題を知り、その解決に向けてアクションをおこなうためのノウハウを学び、自分に何ができるかを考えるための合宿型育成研修イベント)	春・夏・ 冬 3日 ～5日の プログラ ムを3回 以上実施	日本	国内の子ど も・ユース 90人	2,500
	ファシリテーター育成活動 リーダーシップトレーニングキャンプやワークショップを実施するためのファシリテータースタッフの育成をする。子どもの権利を理解、尊重し、子どもに接することができるような人材育成をする。また、育てたファシリテーターの活躍の場を提供する。	通年	主に 東京都	全国のユース30人	1,250
	グローバルチャレンジプログラムの実施 EFと連携して実施するグローバルチャレンジプログラムはコロナウイルスの感染状況みながら開催を検討する。(カナダ、アメリカのWEとの連携しての開催は情報収集を継続して行う)	コロナウ イルスの 感染状況 みながら 開催を検 討	カナ ダ・ア メリカ 等	—	—
	スタディーツアーの中止 スタディーツアーの実開催は、コロナウイルスの感染状況を鑑みて実施しないが、オンラインでの開催ができるか可能性を探り実施予定。	—	—	—	—

子どもメンバー活動サポート	<p>①子どもやユースメンバーなどで構成される活動チームの育成、サポート、チームの存在を紹介する広報活動を実施。</p> <p>▼WE Are the Movement 子ども・ユースメンバーからプロジェクト企画を募り、選考し、選ばれたプロジェクトの実施のサポートを事務局で行う。また選ばれたメンバーはFesのアンバサダーとしても活動してもらう。採用プロジェクト数は6件を予定。</p>	通年	全国	チームに所属する全国の子ども達 80人	1,500
	<p>②WEUnion 子どもメンバーのギャザリング 年に1回同窓会、活動発表の場を設け交流を図る</p>	通年	全国	子どもメンバー (約800人～)	150
	<p>③全国の子どもメンバーからの質問、活動へのサポート 子ども達からの質問対応、情報提供などまた、子どもが活動しやすい会員制度の検討</p> <p>▼フードドライブアクションキャンペーンの強化秋にフードドライブキャンペーンを強く打ち出しし、各地で子どもたちがフードドライブアクションを起こせるようなサポート・PRを行う</p> <p>▼「広げよう！子どもの権利条約」キャンペーンと連動して子どもメンバーが政策提言に関わるためのキャンペーン活動を強化する</p>	通年	全国	子どもメンバー (約800人～)	457

・外部ネットワーク活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
外部ネットワーク構築	<p>①CL-Net(児童労働ネットワーク)・NGO労組協働フォーラムへの運営委員参加と事業実施</p> <p>②JNNE(途上国の子ども教育支援事業NGOのネットワーク)への運営委員参加と事業実施</p> <p>③他組織の会員になって他団体と繋がって活動する。(新公益連盟、関西NGO、SDGsネットワーク)</p> <p>④「広げよう！子どもの権利条約」キャンペーンの運営と参加</p> <p>⑤フェアトレードタウンを世田谷で推進するためのネットワークへの参加</p> <p>⑥関西でのNGO/NPOネットワークへの参加</p>	通年	全国	子どもの権利を侵害されている開発途上国及び国内の子ども	1,000

・アドボカシー（啓発）活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
出前授業	全国出張講演 国際協力や国際理解教育、人権教育に関心のある学校や地域、団体などからの要請を受け、出張講演を実施する。 2022年目標：オンラインオフライン計1万人へ実施を目指す。	通年	全国	全国の子ども・一般人： 10,000人 教員：100人	2,500
FTCチェンジメーカー教育プログラム	①教材開発 wellbeingの教材開発と普及。 ②全国展開 全国の学校など教育機関に、チェンジメーカー教育プログラムの周知を行い、学校登録を促す。学校との連携事業を強化する。 ③キャンペーンキット 文化祭向けキットの作成 ④上記内容管理・教材更新	通年	全国	全国の子ども達・一般人： 10,000人 教員：100人	3,000
WE Talk "SOCIAL"	参加者が社会問題について学び、ディスカッションを通じて学びを深めるためのイベントを開催する。キャンプで養成した大学生やその他のメンバーが中心となって、ファシリテーターを担う。（ワークショップ、講義形式どちらもあり） 開催方法：オンラインイベントを軸として企画 開催時期：年3回以上は実施する	通年	全国	全国の子ども達・一般人：100人	500
物販	貧困層の自立につながるフェアトレード商品や国際理解教育教材（DVD）や書籍などの仕入れ、紹介、販売、管理を行う。また店舗での委託販売先の開拓も開始する。 ▼児童労働シュミレーションカードゲーム等の教材販売促進キャンペーンを実施 ▼子どもが文化祭等で販売する商品の開発の継続 ▼オンラインショップを通じた販売の促進 2022年目標：収益80万円を目指す	通年	全国	全国のメンバー 800人～  購入者 100人～	500
イベント	他団体主催によるイベントへの参加及びFTCJ主催イベントの開催： ▼他団体主催イベント パネル展示、動画上映、スピーチなどを通して、権利を奪われた子どもの現状や団体活動紹介をする。同時に可能であれば物販活動も行う。 コロナ禍の影響が未知数のため参加先未定。  ▼FTCJ主催イベント フードドライブキャンペーンと連動して団体主催のハロウィンイベント（チャリティイベント）を秋に開催する。Fesとの連動全国イベントとして開催する。	通年	全国	全国の子ども達・一般人 10,000人	500

団体広報	①キッズパワー募金の広報 団体の活動をわかりやすく伝え、団体を支えていただく人を増やしていく ②動画作成 先生や子どもたちのニーズに合わせて動画などを作成	通年	全国	全国の子ども・教育関係者・その他一般 10,000人	500
メールマガジン/ ニュースレター/ア ニュアルレポ ート発行	①メールマガジンを毎月2回発行する。 ②ニュースレター（年3回）を発行する ①アニュアルレポート（年1回）を発行する。（各750部）	通年	団体 オフィ ス	全国の子ども達 ・一般 3,000人	800
ホームペー ジの運営	①ホームページの更新。 ②サーバー管理	通年	団体 オフィ ス	全国の子ども・教育関係者・その他一般 10,000人	800
問い合わせ 対応/オ フィス訪問 対応	学校単位での訪問・インターンの受け入れ、ボランティア、来客対応	通年	団体オ フィス	月1回ボラン ティア デー、事務 所訪問など	100

・ Change Makers Fes

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
Change makers fes22開催	社会貢献活動をおこなった子どもや若者をエンパワーするFesを3月19日オンライン開催する	1～3月	全国	全国の子ども達 2000人～	5,000
Change makers fes23開催	23年はオフラインの開催を予定し準備を進める。	通年	全国	全国の子ども達 2000人～	19,000

自立支援事業：Free The Childrenプログラム  
・海外事業

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
インド	【CCD支援】 西ベンガル州コルカタ付近にある現地NGO・CCDを通じて貧困地域へ教育支援や食糧支援、収入や保健向上事業を行う。	通年	西ベン ガル州	貧困地域 4000人	800
	【リムラスクール支援】 マハラシュトラ州ムンバイ市内スラム地域の子どもを対象にした小学校リムラスクールに通う生活困窮家庭への奨学金支援の実施の可能性を探るため調査をする。	通年	マハー ラー シュト ラ州	スラム地域 に暮らすム スリムの子 ども15人	300

フィリピン	【ミンダナオ島コミュニティ支援】 手紙を通じた交流「文通プログラム」の運営を通じた資金をもとに、先住民族の子どもへの教育支援やコミュニティ全体の自立支援を行う。	通年	フィリピン ミンダナオ島	先住民族の子ども達 120人	800
	【プレダ基金子ども支援】 フィリピンのパートナーNGOプレダ基金を通じて、虐待を受けた子どもや、路上生活を強いられたり、法に抵触した子どもの自立に向けた包括的な支援を行う。	通年	ルソン島	虐待や刑務所から救出された子ども200人	500
	【ピースビルディング事業】 コロナ感染が落ち着いたら、2018年に紛争被害を受けたミンダナオ島マラウィ市のムスリムの子どもを対象に、ピースビルディングと子どものウェルビーイングのための子どもの権利をベースとした支援活動を行う。	6月以降	マラウィ市	300人	500
	【障害者支援】 視覚障害のある低所得家庭の子どもを対象に、教育支援を行う。	通年	フィリピン	100人	1,500
	【緊急支援】 2021年12月にフィリピンを襲った台風22号「ライ」被災者支援のための緊急支援を行う。食料や生活物資の提供をおこなう。	1月～6月	フィリピン	シャルガオ島の島民	800
ケニア	【FTCネットワーク活動】 ナロック群南ナロック県内の先住民族コミュニティを対象に、人々の健康向上のための包括的な保健支援を行う。また、先住民族の女の子が質の良い教育を受けられるよう、女子教育拡充支援を行う。	通年	ケニア	支援先農村の 村民 1500人	1,200
ザンビア	【調査】 ザンビアの首都ルサカを拠点に活動する現地NGOや地方自治体などと協働して貧困地域の子どもやその家族、また地域の人々への自立支援の可能性を探るために現地を訪問し調査をする。	4月以降	ザンビア	—	500

・国内事業

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
国内の 子ども支援	【キャンプ・スカラシップ支援】経済的な理由などでキャンプへの参加をあきらめざるを得ない子どもを対象に無料で参加できるよう支援する。	通年	全国	国内の生きづらさを感じている子ども1400人	1,050
	【教育応援金支援】ひとり親家庭や新型コロナウイルスの影響を受けた世帯、その他様々な理由で家計がピンチな状況にある世帯の子どもを対象に教育応援金の提供を実施。				

管理部・その他 この法人の目的を達成するために必要な事業に関する計画  
**管理部**

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業予算(千円)
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳	通年	東京	30	30
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため研修を受講 事業実行のためのスキルアップ	通年	東京	8	50
個人情報管理	メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行う	通年	東京	4	100
ファンディング	サポーター増強のためのWEBサイトの更新、googleアナリティクスの運用など	通年	東京	3	200
広報・ブランディング	団体のブランディングを統一し、ターゲット層に届く広報活動を行う	通年	東京	3	1000
問い合わせ対応	事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例：事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など	通年	東京	3	200
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し、税務関係資料作成や帳簿を付けるなどの業務を実施	通年	東京	2	2000
理事会・事務局運営	・中長期計画に基づき、連携をする。 ・事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11	34
その他	オンラインで労働環境の構築（ZOOMやバーチャルオフィスの利用等）	通年	東京	5	50

### 3 2022年次の役員を選任に関する事項

a) 理事会役員について 理事会より2021年次の理事および監事の候補の方を紹介いたします。(順不同)

新・継続	氏名	役職	居所	紹介文
継続	中島 早苗 (なかじま さなえ)	理事 【代表】	新潟	FTCを日本で紹介しFTCJを1999年に設立して以来、活動に従事。04～05年度代表理事に就任後06～09年度に副代表理事兼事務局長に就任、10年度から代表理事に再任。
新規	原元 望 (はらもと のぞみ)	理事 【副代表】	山口	2000年の高校生時代から活動に従事。2010年まで理事を務め、2011～2021年度まで事務局長として事務局全体の運営や組織基盤強化を担当する。2013年「アユスNGO新人賞」を受賞。
継続	出野 恵子 (いでの けいこ)	理事 【事務局長】	東京	03年度より海外自立支援のインドを担当し、活動に従事。07年度より理事に就任。09～11年度まで事務局長を兼任し事業運営のほか組織基盤強化を担当。
継続	伴野 保志 (とも の やすし)	理事	東京	2000年から活動に携わり、04～05年度に副代表理事に就任後06～09年度まで代表理事に就任。事務局では外部ネットワーク「チームグー」や、総務担当として活動。10年度から副代表理事に就任。その後2018年より理事に就任。
継続	藤井 裕子 (ふじい ゆうこ)	理事	兵庫	2007年にフィリピンへのスタディツアーに参加して以来、正会員として団体の組織運営を始め、関西での子どもの活動や出張講演サポートなど活動に従事。2016年から理事に就任。
継続	志賀 アリカ (しが ありか)	理事	長野	09～11年度まで子ども代表委員として活動に参加し事務局運営や子ども主体事業企画運営に携わり、子どもメンバーとして積極的に活動を展開。2012年よりユース理事に就任。16年より社会人理事。
継続	竹内 美紗子 (たけうち みさこ) 旧姓:佐藤 さとう	理事	東京	高校生の時にFTCJのメンバーとなり、支部活動や、フィリピンのスタディツアーなど様々な活動に参加。大学生の時に、事務局運営ボランティアとして業務をサポートし活動を支えた。2017年度より理事に就任。
継続	林 大介 (はやし だいすけ)	理事	東京	東洋大学社会学部助教、子どもの権利条約ネットワーク事務局長、川崎市子どもの権利委員会委員、模擬選挙推進ネットワーク事務局長等を就任。1976年東京生まれ3児の父親。FTCJにおける子どもの権利推進擁護活動の充実のため、2017年度より理事に就任。
継続	中島 慎治 (なかじま しんじ)	理事	新潟	1999年にフィリピンの子どもの権利活動家の少女ピア(商業的性的搾取の被害者だったが12才の時FTCJのパートナー団体ブレダ基金に保護され活動家に)来日時のドキュメンタリー番組を制作したことからFTCJと接点を持つ。NHK報道局チーフプロデューサー。2019年から理事に就任。
継続	松下 耕二 (まつした こうじ)	理事	東京	阪神淡路大震災でACのTVCMを見て、高校生ボランティアに参加。世界を良くするためにCMプランナーを志す。広告会社に勤務。2019年MBA取得、修士論文は「非営利組織の経営戦略」。日本マーケティング学会サロンの委員。2児の父。2020年度より理事会より理事に就任。
継続	倉下 由香 (くらした ゆか)	監事 (会計)	東京	2011年度より事務局の会計スタッフとして5年間勤務し、FTCJの活動を支えた。2018年度より新たな会計監事に就任。
継続	宮島 珠 (みやじま たま)	監事 (会計)	神奈川	NPO法人取得から会計監査としてFTCJの活動を支えたのち、2019年の休みを挟み、2020年度より再度会計監事に就任

b) アドバイザーの紹介

◆長田 和弘(おさだ かずひろ) 税理士、中小企業診断士、准認定ファンドレイザー

税理士法人勤務を経て2019年2月長田和弘税理士事務所を開業。中小企業・NPOに対するクラウドソフトによる会計支援、業務効率化支援を中心に実施。経営計画策定支援、資金調達支援、助成金・補助金申請、認定NPO支援などを得意とする。

◆平尾潔(ひらおきよし) 弁護士

日本弁護士連合会所属、世田谷区せたがやホッと子どもサポート委員。

◆堀内 光子(ほりうち みつこ)氏

労働問題や女性の権利の分野での研究・専門家。公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム 理事長、地球憲章国際審議会委員、児童労働ネットワーク代表。また、2006年よりフリー・ザ・チルドレン・ジャパンの活動をサポート。

◆河合 将生(かわい まさお)氏

NPO・NGOの組織基盤強化やファンドレイジング、マネジメントのコンサルタントや、組織の協働・連携のコーディネーター及び国際協力やキャリア育成に関する相談・講演を行うoffice musubimeの代表